

# 青少年だより かけ橋

令和2年度 第1号 <4月発行>

音更町教育委員会

## 子どもの健やかな成長を願いみんなで築こう安全・安心な街

新年度がスタートしました。入学・進級・進学されたみなさん、おめでとうございます。希望いっぱいの楽しい学校生活を送っていることと思います。

子どもは町の宝です。子どもたちが、痛ましい事故や事件に巻き込まれることなく、健やかに成長することを願って、家庭・学校・地域みんなで見守り育てていきたいものです。

### 不審者・防犯



青少年対策地区指導員の巡視活動をはじめ、町内会や青少年健全育成会では、防犯パトロールや登下校時の子どもの見守り活動に取り組んでいます。小中学校では、専門家（帯広警察署、警備会社）を講師に招き、「安全指導」や「防犯訓練」「防犯教室」等の取り組みを行っています。

地域の大人みんなの目を子どもたちに向け、不審者や犯罪から子どもたちを守りましょう。

### 交通安全



子どもの交通事故発生状況は、徒歩中の事故の場合、小学校低学年が多く、登下校の時間帯に発生しています。また、自転車走行中の事故は、小学校低中学年の男子に多く、放課後の15時～17時頃に多発しています。また、自転車で走行中、スマートフォンや携帯電話等の画面を見たり、操作することは非常に危険です。自転車運転で重大な事故を引き起こし、高額な賠償請求を受ける場合があります。危険な場面を見たときには注意してあげましょう。

### ネットトラブル



音更町PTA連合会と地区青少年健全育成連絡協議会では、スマートフォンや携帯電話等の安全な使用に関して「家庭内でのルールづくり」や「フィルタリング設定」を呼びかけています。子どもの成長に合わせて、保護者が利用状況を把握し見守ることが大切です。

#### きをつけて 知らない人との やりとり

・甘い誘いにのらない。 ・顔の見えない相手とやりとりしない。

#### ずっと残る ネットにのせた 君のこと

・個人情報は送らない。 ・送った情報の回収は非常に困難です。

#### なやんだら すぐに相談 大人にね

・困ったときには大人に相談しよう。

### 非行防止

北海道の法令等により、16歳未満の青少年がゲームセンターやカラオケ店等の遊戯施設を利用できるのは、保護者同伴であっても午後10時までと定められています。

青少年を非行に走らせないために、規範意識を高め、社会的なマナーや思いやりの心を身につけることが望まれます。

子どもとともに歩む温かい家庭環境と地域社会を築きましょう。



青少年の悩みごとは 青少年係へ

電話 0155-42-5855 (平日8:45~17:30)

# 青少年係 主な活動内容

子どもたちが安全・安心な社会環境の中で、心身ともに健やかに成長することを願って、家庭・学校・地域・関係諸機関のご理解とご協力をいただきながら以下の活動を行っています。

## 1 巡視活動

- (1) 啓発巡視 町内中心街、住宅街、駒場地区を中心に広報車による啓発と巡視
- (2) 一般巡視 大型店、遊技場、公園、学校周辺、通学路等の巡視
- (3) 特別巡視 夜間巡視；毎月1回、公園や大型店舗、遊戯施設等の巡視  
休日巡視；毎月1回、土曜日又は日曜日の巡視
- (4) 地区内巡視 町内5地区（音更、共栄、下音更、緑南、駒場）の青少年対策地区指導員が各地区内の巡視を行います。一般巡視（毎月2回）、特別巡視（随時）

## 2 通報・相談活動

- (1) 不審者や変質者の出没等の通報受理と関係機関への連絡
- (2) 青少年の悩み相談  
家族や自分自身のこと、交友関係など、青少年の問題について相談を受けています。

**3 広報活動** 広報紙「かけ橋」を毎月発行します。（偶数月；町内会配布）（奇数月；学校配布）

**4 学校訪問** 学校との情報交換と連携を図っています。（年間2回）

## 5 放課後子ども教室の取り組み

音更小学校、下音更小学校、柳町小学校、駒場小学校、緑陽台小学校、鈴蘭小学校の6校で放課後子ども教室を実施します。

- 参加対象者；小学校1年生から6年生までの児童
- 実施期間；5月から2月まで（各会場年間12回程度）
- 実施時間；午後2時30分～午後4時まで  
（11月から2月は午後3時30分まで）



放課後子ども教室の様子  
(柳町小学校)

## 6 その他

- ・有害環境の浄化活動、地区青少年健全育成会との連携
- ・教育推進員、学校教育相談員との情報交換（毎月1回）

# 町内の不審者情報件数について

令和元年度、青少年係が受理した不審者等の通報件数は4件でした。前年度より6件減少しました。地域全体でパトロールや登下校の見守り活動を行っていただいたことや、学校で取り組んでいる「安全指導」や「安全教育」等の成果が上がったことだと考えられます。

子どもたちが大きな事件や事故に巻き込まれることはありませんでしたが、油断することなく、引き続き地域みんなで警戒していかなければなりません。

### (1) 月別発生件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
30年度	1	2	1	1	0	0	0	3	2	0	0	0	10
令和元年度	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	4

### (2) 発生場所

	音更地区	下音更地区	共栄地区	緑南地区	駒場地区	合計
30年度	0	5	0	5	0	10
令和元年度	0	1	1	2	0	4